

岐阜

三重

●三重支社
津市羽所町536オーシャンビル
059(228)2545
FAX 059(225)6777

●四日市支局
四日市市鶴ノ森2-8-3
メゾン広瀬2B
059(354)6116

●岐阜支社
岐阜市柳ヶ瀬通1-12
岐阜中日ビル8階
058(266)7576
FAX 058(262)6571

●東濃支局
多治見市精華町73
セントラルコーポ多治見306号
0572(23)7812

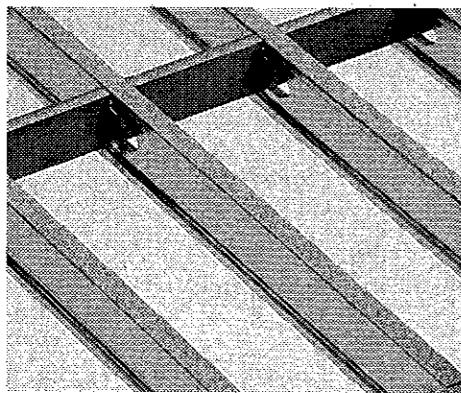
●西濃支局
大垣市本町2-6スタッドI602号
0584(75)1289

Area News

皮膜技術で滑り止め

オカグレート 鋼製グレーチングに新製品

来月から発売する「ハイグリップグレーチング」



新製品は、水や油をリップタイプのステンレス製グレーチング。使用する環境下での安全性を高めた、ノンスリ滑り止め効果を発揮する。初年度は月間10トンの販売をめざす。

グレーチングや土木建築資材の製造販売を手掛けるオカグレート(本社桑名郡木曾町白鷺日鷲川598の190、岡島正成社長、電話0567・68・3111)は、独自の皮膜技術で表面のグリップ力を高めた鋼製グレーチングを開発、10月から市場投入する。初年度は月間10トンの販売をめざす。

来月 初年度は月10トン目標

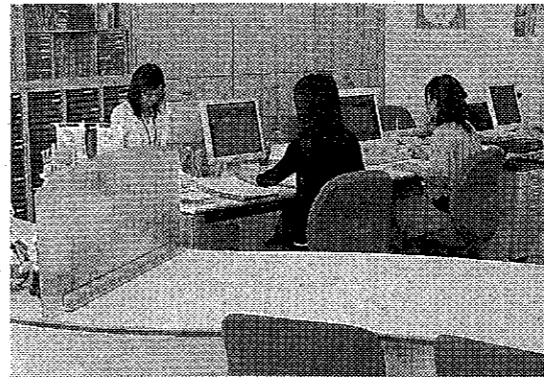
靴底と高い密着性

新製品は、靴底が触れる表面部に、微細な溶融粒子を独自に開発した皮膜技術(特許)を施しているのが特徴。「高い密着性、粒子の緻密化を可能にした」とにより、耐久性も向上させたという。

(桑名・横井清)

同社は04年、可児市で設立。複数の保険会社の代理店業務を行うほか、人事関連の総合コンサルタント業務も手がけている。

最適プラン 顧客に提案



多治見本店にはオフイス部門に隣接する形で、喫茶店「カフェ・リブ」を設置。来店客やコーヒープレークに訪れた人々に「同社をPRしている。また、土日には喫茶店のスペースを、各種セミナーなどに無料貸し出ししており、認知度向上を図っている。渡辺社長は「人の流れを作り出すことで、集客効果を出していく」としている。

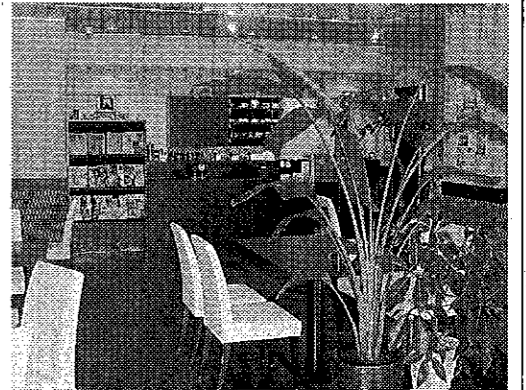
喫茶店併設で集客効果も

多治見本店にはオフイス部門に隣接する形で、喫茶店「カフェ・リブ」を設置。来店客やコーヒープレークに訪れた人々に「同社をPRしている。また、土日には喫茶店のスペースを、各種セミナーなどに無料貸し出ししており、認知度向上を図っている。渡辺社長は「人の流れを作り出すことで、集客効果を出していく」としている。

ジャストライフ

来店型保険店が好調

保険サービス代行のジャストライフ(本社多治見市音羽町4の14の1、渡辺敬史社長、電話0572・25・1213)が運営する、来店型保険ショップが好調に推移している。昨年オープンした多治見本店には喫茶店を併設し、無料でセミナースペースを貸し出すなど認知度アップのユニークな戦略を実施している。今後、多治見と可児に続き、近隣市町村への出店も視野に入れている。(多治見・今井康紀)



保険ショップに隣接する喫茶店

ビジネスの好機つかめ

多治見市き業展 出展者を募集

【多治見】多治見市を各アースでアピールは来年1月にセレクトする。ビジネスチャンスを広げるも、多くの企業に参加7回き業展」の出展者を呼びかけている。同展は2005年から多治見市を中心とする地元企業が集結して事業のアップルを行う。前回は126団体に参加し、2千人以上が来場した。今回は出展者の共通目標として、①企業PR



前回のき業展会場

【岐阜】岐阜市内で名刺交換会を開いている明樹会(代表幹事・富田清巳)は、9月、岐阜市の長良川スポーツプラザで開いた9月例会で、日本対がん協会から感謝状を贈呈された。明樹会が同協会へ3万円

明樹会 対がん協

②契約を取る③求人を探す④物販をする⑤業務提携を結ぶ⑥業務提携を結ぶ⑦来場者3千以上をめざす。募集期間は10月2日まで。問い合わせは多

温かい気持ち伝えて

岐阜提灯「レター提灯」発売



尾関理事長は「提灯の明かりは温かみがある。気持ちを伝えるツールとして使っていたらいいな」と話している。

【岐阜】岐阜提灯(ちよつちん)の製造販売を手がける9社で構成する、岐阜提灯協同組合(事務局・岐阜市小原町1の18・オセキ内、尾関守弘理事長、電話058・2663・0111)は、提灯の新たな用途提案へ、「レター提灯」を発売した。

封筒に入る小さな提灯で、中から照らすこともできる。提灯に絵やメッセージを書き込んで送ることも可能で、企画した。08年にアサ

新宿でPRイベント

北勢の地場産品普及へ

【四日市】四日市商工会議所(齋藤彰一会長)は、北勢地域の地場産品の普及拡大を図るため、三重北勢地域

四日市会議所

「レター提灯」に対する顧客の要望が強く、開発から十数年が経ち、ようやく商品化に近づいたという。製品の効果をより発揮する水や油を使う工場やプラント、プールなどの業界向けに営業強化していく。

家田氏(ユニ)が経営術

桑名信金 来月1日に講演会

【桑名】桑名信用金庫(中澤康哉理事長)は10月1日午後5時から、20の桑名市民会館小ホールで「経営講演会」

「レター提灯」に対する顧客の要望が強く、開発から十数年が経ち、ようやく商品化に近づいたという。製品の効果をより発揮する水や油を使う工場やプラント、プールなどの業界向けに営業強化していく。